

知事メッセージ

●台風第11号への警戒について

台風第11号は、非常に強い勢力で、日本の南を発達しながら西へ進んでおり、沖縄地方に向かって進んでおります。

沖縄気象台による直近の情報では、大東島地方では31日未明から暴風となる見込みで、台風の進路等によっては、沖縄本島地方では31日以降、先島諸島では9月1日以降、暴風となるおそれがあります。

波浪については、大東島地方では31日は猛烈なしけとなる見込みで、沖縄本島地方では31日以降、先島諸島では9月1日以降、大しけとなる見込みで、高波に嚴重な警戒が必要です。

大雨については、大東島地方は31日以降、沖縄本島地方や先島諸島では、9月1日以降、雨雲の発達具合によっては警報級の大雨となるおそれがあります。

土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒・注意をお願いします。今後、沖縄気象台が発表する気象情報及び各自治体が発表する避難情報等に十分注意して下さい。

沖縄県では、災害対策本部を設置し、台風災害に備えてまいります。

台風が中心が近づくと予想されている大東島地方の皆様をはじめ、県民の皆様、沖縄に来られている皆様には、次の点に気を付けてくださいますようお願いいたします。

1. 暴風への警戒が重要となります。改めてのご注意ですが、風に飛ばされやすいものは、建物の中などへ移動させたり、固定するなどの事前準備をお願いします。
2. 断水や停電の発生に備え、水や食料の確保、懐中電灯・ラジオの準備や電池の確認、携帯電話の充電等事前対策に努めてください。

3. 災害時においては、「危険な場所にいる人は、避難すること」が原則です。市町村が作成している「ハザードマップ」をご確認いただき、浸水・土砂災害等の被害のおそれがある地域にお住まいの方は、危険が差し迫る前に早めの避難をお願いします。
4. また、現在、コロナ禍にありますので、市町村が開設する避難所だけでなく安全な親戚・知人宅に避難することもご検討ください。
5. そして、避難する際は、マスク・手指消毒液など感染予防を目的とする用品を、できるだけ自ら携行してください。また、発熱等症状のある方は、避難所の受付で申告して頂きますようお願いいたします。
6. 早め早めの台風対策を行うとともに、台風が接近している間は、不要不急な外出は控え、港や海岸等、危険な場所には近づかないでください。また、ドアや窓の開閉に注意するとともに、屋内においても窓から離れるなど、身の安全に注意してください。
7. 避難所への避難が危険な場合は、浸水に対しては2階などへの垂直避難、土砂災害に対しては建物の中でも崖側から離れる、また暴風に対しては窓から離れることなど、「命を守る行動」を最優先に行動してください。

台風11号の影響を長期間受けることになる見込みであることから、皆様には、早めの対策と暴風や大雨等への警戒を十分行っただきますよう、よろしくお願いたします。

令和4年8月30日
沖縄県知事 玉城 デニー